協働型学校評価

仙台市教育委員会

本市では，学校・家庭・地域が協働して行う「協働型学校評価」を学校評価の基本としています。

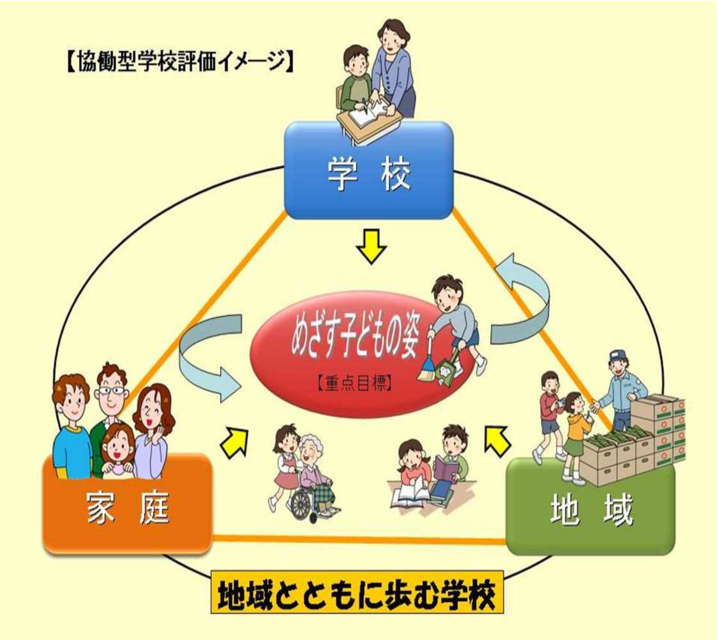
協働型学校評価とは

学校評価の本質は，「児童生徒のよりよい姿」を実現するために行われる絶え間ない教育活動の改善にあります。

協働型学校評価は，児童生徒の現状や課題から，学校・家庭・地域の三者が協働して当該年度の重点目標を設定し，それぞれの立場から改善活動に取組み，その成果を次年度に生かしながら，新たな重点目標設定につなぐ，P-D-C-A サイクルによる改善活動の継続的な営みです。

本市では，平成 22 年度より協働型学校評価を学校評価の基本としています。

学校では，この協働型学校評価を学校・家庭・地域をつなぎ，児童生徒のよりよい成長を支えるコミュニケーションツールとして活用し，保護者や地域住民の理解と参画を得ながら，地域連携による学校づくりを推進しています。



P-D-C-A サイクルによる改善活動

1 Plan（4 月～5 月）：学校関係者評価委員会の開催

■児童生徒の現状と課題の共有，重点目標・目標達成に必要な評価項目と指標・目標達成に向けた改善活動の決定と地域内の各種団体等への説明

2 Do(4 月～12 月)：目標達成に向けた改善活動と成果把握

■改善活動の進捗状況及び児童生徒の変化・変容に関する情報や資料の収集，家庭・地域へ改善活動の進捗状況及び児童生徒の変化・変容に関する情報提供，学校公開の実施，学校関係者評価委員との意見交換

■自己評価による成果把握，改善活動のまとめ，自己評価結果の公表

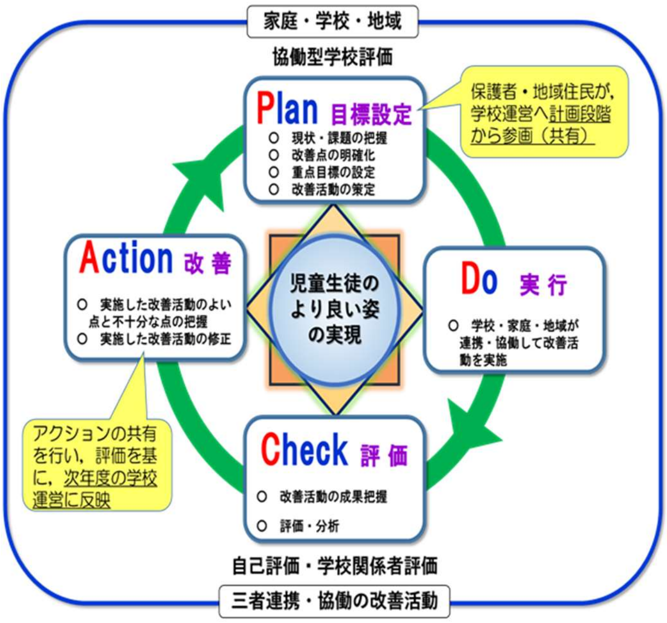
3 Check（12 月～1 月）：学校関係者評価委員会の開催

■今年度の成果把握，「新年度の重点目標・評価項目と指標・改善活動」案の検討

4 Action（2 月～3 月）：新年度に向けた準備期間

■教育指導課長宛，当該年度の学校評価の業績を報告

■新年度教育計画に「新年度の重点目標・評価項目



年間スケジュール

1　Plan（4 月～6 月）：学校運営協議会（学校関係者評価委員会）の開催

■児童生徒の現状と課題の共有，重点目標・目標達成に必要な評価項目と指標・目標達成に向けた改善活動の決定と地域内の各種団体等への説明

2　Do(6 月～8 月)：目標達成に向けた改善活動と成果把握

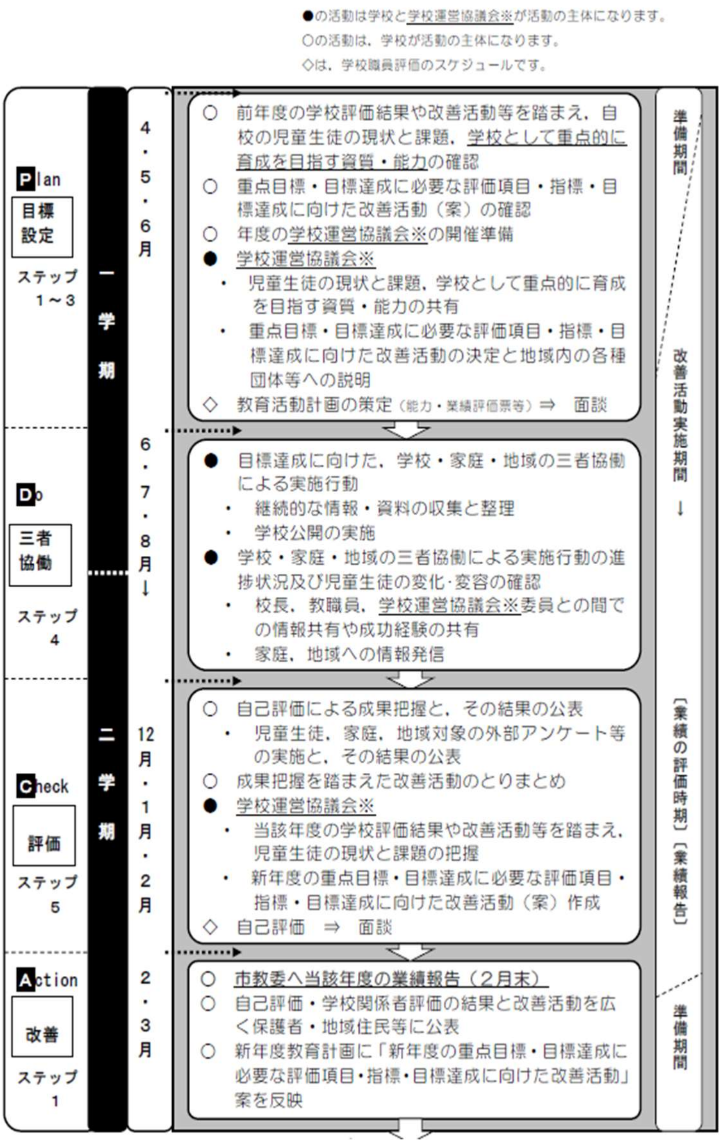
■改善活動の進捗状況及び児童生徒の変化･変容に関する情報や資料の収集，家庭・地域へ改善活動の進捗状況及び児童生徒の変化･変容に関する情報提供，学校公開の実施，学校運営協議会（学校関係者評価）委員との意見交換

■自己評価による成果把握，改善活動のまとめ，自己評価結果の公表

3　Check（12 月～1 月）：学校運営協議会（学校関係者評価委員会）の開催

■今年度の成果把握，「新年度の重点目標・評価項目と指標・改善活動」案の検討

4　Action（2 月～3 月）：新年度に向けた準備期間

■教育指導課長宛，当該年度の学校評価の業績を報告

■新年度教育計画に「新年度の重点目標･評価項目と指標･改善活動」案を反映